

史学委員会 文化財の保存と活用に関する分科会（第26期・第3回）

議事要旨

日 時：令和7年3月11日（月）9：00～12：00

場 所：開催場所／オンライン開催

出席者：臼杵勲、内山幸子、越智敏裕、川嶋四郎、貴志俊彦、佐藤宏之、芳賀満、
松本直子、菊地芳朗、佐藤義明、關雄二、辻田淳一郎、平澤毅、福永伸
哉、松田陽、宮地淳子

欠席者：恵谷浩子、大久保徹也、奥村弘、岸本覚、瀬谷愛、林部均

<議事>

（1）前回議事要旨の確認

前回第2回分科会の議事要旨案が確認、承認された。

（2）諸問題の報告と検討

①貴志俊彦委員「東アジアの文化財法の現況」

②越智敏裕委員「文化遺産と環境法」

③川嶋四郎委員「文化財保護における司法的救済の限界と一市民の展望」

三本の報告後、委員間で質疑応答・意見交換がなされた。本分科会として今後どのようなテーマで議論を深め、その成果をいかなるかたちで発信すべきかを検討した。

（3）今後の分科会の活動について

シンポジウム実施や出版物公刊など、今期中に本分科会が行うべき活動の可能性を検討した。

（4）その他

日本学術会議の現況について情報交換を行った。

以上